

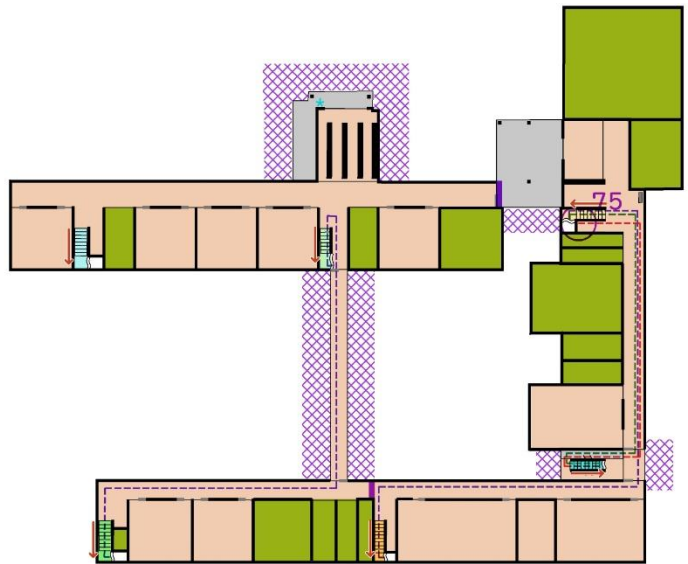
第 38 回 KOLA 新春大会 コース解説書 (オモテ)

コース設定者：大野 絢平

本コースのコンセプトは「速解」である。階層構造を素早く理解し、正しいルートを導き出すことができただろうか？日本では目新しいインドアOで、目の前のレッグをこなすのに精一杯だったかもしれない。結論から言ってしまうが、本コースはこなしたレッグの蓄積からヒントが多く得られる仕組みだ。もう一度机上でコースを見返せば、きっと簡単に思えることだろう。

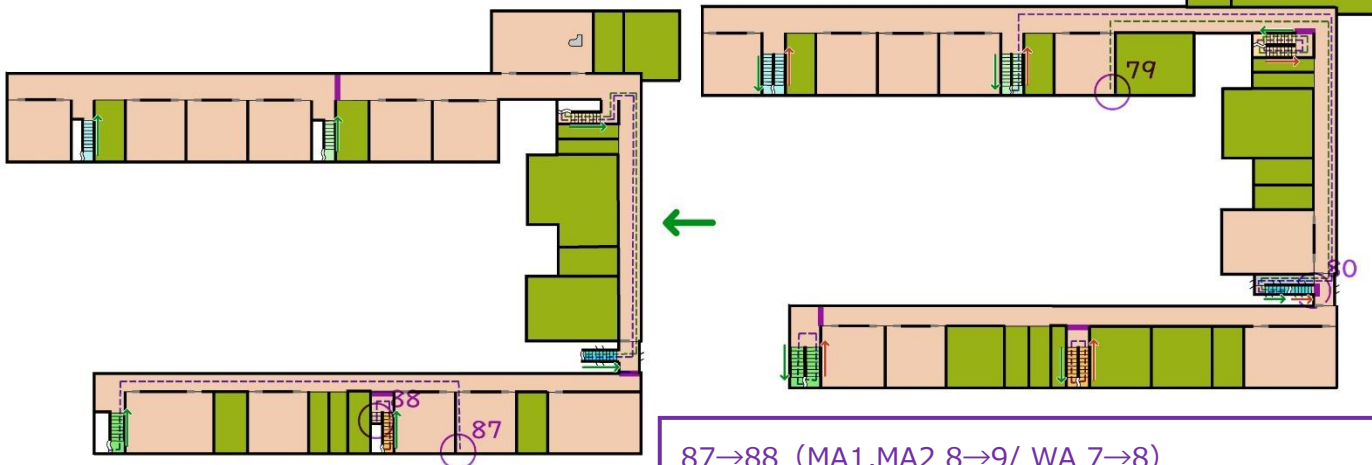
75→80 (MA1,MA2 5→6/ WA 4→5)

ポスト位置がちょっとテクい。2階からのアプローチができないので、1階の青階段を使うことに早く気づけたかどうか。



80→79 (MA1,MA2 6→7/ WA 5→6)

1階から2階に移動する方法はベージュ階段で3階に上り、青階段で2階に降りるしか方法がない。この段階で前半レッグを巻き戻せばいいことに気がついた貴方はプロ。



87→88 (MA1,MA2 8→9/ WA 7→8)

レッグ線は最短にして実走は最長のレッグ。87と88はそれぞれ緑とオレンジの階段で1階に直結しているのですが、この間を考える必要がある。もうお気づきかもしれないが、これまでのレッグのルートを再び巻き戻すだけだ。実走は440m。ありったけの廊下を堪能できただろうか？

Extraはメインレースからバリケードの位置や配置傾向が変わっていたが、上手く対応できただろうか？コースのコンセプトも「ルートチョイス」としており、解答探しのメインレースとは趣向を変えている。是非、地図に定規をあててルート比較をして、大会後も楽しんでいただければ大慶至極である。

第 38 回 KOLA 新春大会 コース解説書(ウラ)

コース設定者:大野 絢平

本コースのコンセプトは「青春」である。学生だったあの頃を思い出し、エモーショナルなひとときを味わうことができただろうか?今回はコースの各所に私の思うエモなコントロールを置かせていただいた。貴方もあの頃の記憶に寄り添いながら地図を見返して、再び清らかで美しい心に還っていただければ幸いである。



91,92,93→90

ド定番、「お話があるから放課後体育館裏に来てねポスト」だ。地図上のポスト位置は机(人工特徴物)となっているが、そこにプレゼントが置かれていたのにお気づきであっただろうか?(実は中身は博多通りもんでした)

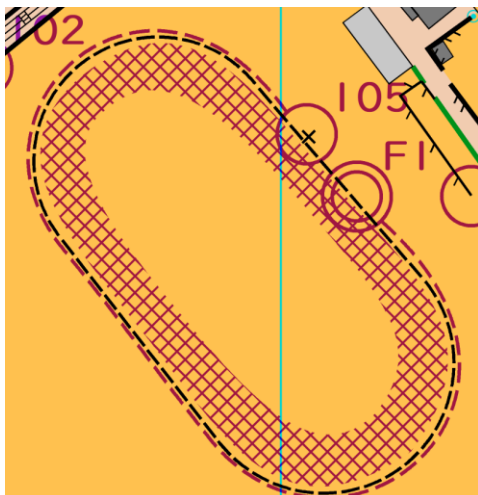
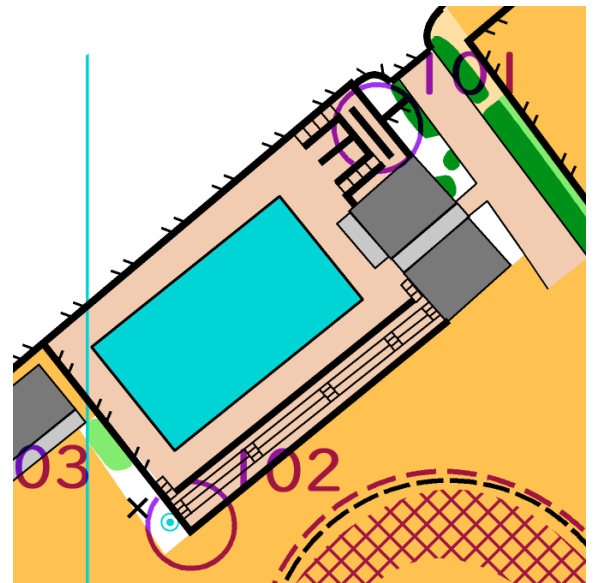
オリエンティアたちの青春にこの1ページが刻まれているのかは謎だと思いつつも、ここは外すことができなかった。

101→102

「廊下を走ろうか。」のキャッチコピーが前面に出されていた本大会だが、プールサイドを走ることを皆さんは想像していただろうか。

101はシャワー横の通路だが、通路が細かいためポスト周りはしっかり読み込んでいこう。プールのシャワーは冷たくて、みんながキャッキヤ言っていた記憶が蘇る場所だ。

102は観客席の端っこだが、デフを読んでいないとプールエリアの外側からアタックする大ミスをかましてしまうかもしれない。



105→Finish

ラストゴールは全力で走る「やる気」が湧くであろうトラック1周(200m弱)とした。誰しもが体育の授業なり、運動会なり、部活なりで走ったことがあるだろう。人によっては、トラックは見るだけで嫌気がさすかもしれないが、今日くらいは清々しく走り抜けていただけただろうか。

なお、MAは2クラスに分割されていた都合上、KOLA杯は該当者が同一順位にいた場合に当区間のタイムが短い方になっていた。KOLA杯を狙っていた者は、気を抜くことは許されない区間なのだ。